

# おごせ 議会だより

## 6月定例会

文化庁から7千万円 ……P2  
臨時議会、賛否表 ……P3  
一般質問 ……P4  
顔のみえるまちおごせ ……P10

2022.8 No.182

あじさい (紫陽花)



# 令和4年度 一般会計補正予算 5029万4千円追加

## 6月 定例会

### 地域文化財総合活用推進事業 国庫補助金交付決定 7132万9千円

令和4年第2回定例会は、6月1日から3日までの3日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、議案2件、承認2件、同意3件でした。慎重審議の結果、可決・承認・同意されました。

一般質問には10名の議員が登壇し、町政に関する質問を行いました。

#### 令和4年度越生町一般会計 補正予算(第1号)

既定の予算に5029万4千円追加。総額43億2429万4千円とする。

賛成全員 可決

#### 歳入

主なものは次の通りです。

新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金

1060万1千円

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金等

632万円

文化遺産活用事業一時貸付金

2853万2千円

財政調整基金繰入金

367万1千円

#### 歳出

総務費

8万1千円

民生費

632万円

衛生費

1177万1千円

土木費

359万円

教育費

2853万2千円

#### 専決処分の承認

越生町税条例の改正

賛成全員 承認

越生町国民健康保険税条例の改正

賛成全員 承認

#### 条例の改正等

越生町重度心身障害者医療費支給に関する条例の改正

賛成全員 可決

越生町、毛呂山町外4組合  
公平委員会委員の選任

久保 武夫氏(越生東)  
荏原 茂氏(毛呂山町)  
小室 唯男氏(毛呂山町)  
賛成全員 同意

文化財総合活用推進事業国  
庫補助金交付決定

交付金 7132万9千円

これは、文化庁が補正予算として65億円の大型支援を決めたもので、当町では、越生まつりを中心に、獅子舞、里神楽等の用具や衣装の修理、及び後継者養成のために使うものとして、県市町村が申請をして採択を受けたものです。総件数215、越生町は11番目の高額を頂きました。その内、支払いの一時貸付金は、2853万円用意しています。

# 6月臨時会

令和4年第1回臨時会が、6月30日に開催されました。町長から提出された議案は、一般会計補正予算、水道事業会計補正予算の2件でした。

令和4年度越生町一般会計補正予算(第2号)

令和4年度越生町水道事業会計補正予算(第1号)

既定の予算に6198万8千円追加で、43億8628万2千円とする。

補正の主なものは、公共交通事業者への支援、保育施設やひとり親家庭等への支援、学校給食費を8か月分免除など。

水道料金の基本料金4か月分を免除。国の交付金4100万円を活用。

賛成全員 可決

## 歳入

新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金 5680万円  
財政調整基金繰入金 518万8千円

## 歳出

総務費 60万円  
民生費 322万3千円  
衛生費 4100万円  
教育費 1716万5千円

賛成全員 可決

(単位千円)

科目		既決予定額	補正予定額	合計
収入	水道事業収益	303,756	△ 3,000	300,756
	営業収益	298,179	△ 44,000	254,179
	営業外収益	5,574	41,000	46,574
支出	水道事業費用	293,696	1,000	294,696
	営業費用	282,915	1,000	283,915

## 6月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、退は退席、議は議長

議案番号	件名	議員氏名										審議結果	
		岩田 眞一	長根 弘倫	島野美佳子	高橋 一正	関根 眞一	池田かつ子	金子 公司	宮崎さよ子	木村 好美	水沢 努		宮島サイ子
承認4	専決処分の承認を求めることについて(越生町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
承認5	専決処分の承認を求めることについて(越生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
26	越生町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
27	令和4年度越生町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
同意1	越生町、毛呂山町外4組合公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
同意2	越生町、毛呂山町外4組合公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
同意3	越生町、毛呂山町外4組合公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意

## 6月臨時会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、退は退席、議は議長

議案番号	件名	議員氏名										審議結果	
		岩田 眞一	長根 弘倫	島野美佳子	高橋 一正	関根 眞一	池田かつ子	金子 公司	宮崎さよ子	木村 好美	水沢 努		宮島サイ子
28	令和4年度越生町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
29	令和4年度越生町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

# 町政を問う！

☆全質問事項は下記のとおりです☆

## ◆質問議員と質問事項◆

### 1 木村 好美

- ① 生徒、児童、および園児のコロナ感染関係全般について

### 2 水沢 努

- ① 森林環境教育の企画をアースデイ東京に出展したらどうか

### 3 関根 真一

- ① 「町からの情報」に関するアンケート調査について

### 4 長根 弘倫

- ① 歴史的文化遺産について
- ② 高齢者福祉について

### 5 岩田 真一

- ① 点字ブロックの補修
- ② 山間部の火災対応
- ③ (株)特産物加工研究所

### 6 宮崎 さよ子

- ① 「書かない窓口」について
- ② 人間ドック・脳ドック・併診ドックの補助額の見直しについて

### 7 島野 美佳子

- ① 児童生徒の新型コロナワクチン接種について
- ② 町のトイレ事情
- ③ 学校給食のさらなる充実、地産地消の推進を

### 8 金子 公司

- ① 森林環境譲与税活用は
- ② 町有林の管理について
- ③ J - クレジットについて

### 9 高橋 一正

- ① 安全で住みやすい地域づくりについて
- ② 太陽光発電設備の今後について

### 10 池田 かつ子

- ① 越生町立小学校の「学校の在り方」について
- ② 放課後の子ども達の居場所づくりの状況



記載した本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。  
(別掲の議員名を付した文章も、すべて同様の扱いです)  
全文は、図書館等に置いてある会議録か、インターネット(越生町ホームページ内「会議録検索システム」)で閲覧することができます。

## 一問一答

一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で、一人あたりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あてに「こんな質問をします」という通告を行います。

## お詫びと訂正

議会だより第181号6ページの下段「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議」を可決の文中で誤りがありました。謹んでお詫びし訂正いたします。  
(誤)倫賛成者 (正)賛成者

# 子どもたちに対するコロナ規制の緩和をもっと声を聞いて

木村 好美



**問** 生徒・児童・園児のコロナ対策に特化した、マスク着用等の越生町独自のガイドラインはあるのか。

**答** 無い。国等のガイドラインを使用している。

**問** コロナ状況は市町村によって違う。子どもたちの今の生活は今しかない。国だけでなく町としても判断すべきと思うが。

**答** 「子どもたちの学びを止めない」を基本に子どもたちにとって一生の思い出になる行事を実施したいという思いのもと、感染状況を踏まえ学校とともに判断していく。

**問** 大阪でマスクを着用し体育をしていた小学5年生男子が亡くなった。学校側は「児童がマスクを希望する場合はマスク

着用可」としており事故調査報告書には「事故の原因となり得る瑕疵（かし）はない」と責任逃れ被害者児童の父は「体育の授業はマスクを外す指導の徹底が必要だ。判断を子どもに委ねるべきではない」と。厚労省も条件に応じ、マスクを外すよう通達している。保護者、子どもたちに分かりやすく周知徹底し、町独自の指導にすべきだ。

**答** 登下校、屋外で人の距離が取ればマスクを外すよう指導している。また、体育や部活はマスクを着用不要と指導している。保育園はオミクロン株前に戻す。

**問** これからは子どもたちの行事（活動）をコロナ理由に縮小や中止にす

**答** 生活アンケート等により聞く。

**問** 赤ちゃんは色んな人の顔を見て喜怒哀楽を学ぶ。マスクが壁になっていくがフェースシールド使用等工夫はないのか。

**答** 保育士マスクは必須。町内の3園でなぜ越生保育園だけが今年度プール遊びをしないのか人手不足だからか。保護者と相談の上、プール遊びを検討する。



老朽化した越生保育園プール

# 森林環境教育の財源に 森林環境譲与税を

水沢 努



**問** 地域おこし協力隊の住居費や活動経費が委託料の他に年間最大200万円出るとあるが、これでは様々なイベントを企画・実行するための資金には足りない。昨年度まで企画財政課長だった池田氏の前議会での答弁では、森林環境譲与税が森林環境教育の財源として使えるとのことだったが、それでよいのか。

**答** 森林環境譲与税は基本は町有林の間伐事業などには使えないが、たとえ町有林であっても啓発事業には使えるので、森林環境教育の財源となる。

**問** 子育て環境整備基金も財源として活用可能ではないか。

**答** 可能だと思う。その際には各課と相談しながら進めていきたい。

**問** アースデイという環境保護をめざす世界的な記念日があり、これを祝するイベントが毎年4月に各国・各地で行われる。代々木公園で開催されるアースデイ東京は20年以上の歴史を持つ大規模イベントだ。コロナ禍で2万人規模に激減したが、それまでは毎年2日間で10万人を超える集客力を持つ。SDGsの時代、更に注目を集めるはずだ。エコや環境に関心を持つ人ばかりが集まるこの場は、新木の森林環境教育事業を立ちあげる上で格

**問** アースデイという環境保護をめざす世界的な記念日があり、これを祝するイベントが毎年4月に各国・各地で行われる。代々木公園で開催されるアースデイ東京は20年以上の歴史を持つ大規模イベントだ。コロナ禍で2万人規模に激減したが、それまでは毎年2日間で10万人を超える集客力を持つ。SDGsの時代、更に注目を集めるはずだ。エコや環境に関心を持つ人ばかりが集まるこの場は、新木の森林環境教育事業を立ちあげる上で格

**答** 協力隊の方などが行うようであるならば、アースデイ東京でも環境省や文科省などが後援団体となっているように、町も何らかの形で協力していきたい。

**問** 好のマーケットとなる。越生町でも出展し、森林環境教育のPRを行ったらどうか。

**答** 好のマーケットとなる。越生町でも出展し、森林環境教育のPRを行ったらどうか。

**問** アースデイ東京の風景



アースデイ東京の風景

# 「町からの情報」に関する、アンケート調査について

関根 真一



**問** 広報4月号14ページに掲載された「町からの情報」のアンケートについて。回収率35・4%をどう見ているか。

**答** 予測を5割と見たが少ない結果だった。

**問** 回収率はアンケートの生命線であり、率の向上、設問内容、詳細を決める会議は行ったか。

**答** 担当者が設問を考えた。内容の検討は、数回の会議を実施した。

**問** 今回のアンケートは「住民の身を守る」視点からなる重要なもの。アンケートで判明した、町の実態を今後広報するのか。

**答** 具体的に予定はしていない。

**問** 記事に誤記載があるが訂正はするか。また、「ら」抜き言葉が記載され

ているが、今後は使用してよいのか。

**答** 広報にて訂正する。「ら」抜き言葉は使わないが、確認が不十分だった。今後は注意する。

**問** 回収率が区によって大きく違うが、高回収率の区の手法は確認したか。

**答** 確認していない。以上との差の理由は、

**問** 11の「町民の声」で、防災行政無線への回答が60件、内34件が「聞こえない、聞きづらい」と、困った声である。改善を望んだ住民にどう対応するのか。

**答** 回答者が分からず、個々には答えようがない。今後広報紙面で細かく情報を流す。



広報おごせ4月号に載る

**問** 問題が山積みなのにこの調査、総務課に限らず、各課に於いても過去の継承だけに頼らず、新たな挑戦をして頂きたい。課長は、持てる能力を十分に発揮して頂き、住民主体の行政推進を願う。

**答** 高齢者もネット環境に慣れてくる傾向がある。今回は住民の安全調査であり、結果を知らせることが大事。回答不要。

# 歴史的文化遺産について 高齢者福祉について

長根 弘倫



**問** 3月31日に、越生中学校の旧技術科室に見学に行きました。保存されている古民具や、トレイに入った多数の土器類等が、所狭しと積み重ねられていました。この古民具や土器類はいつぐらいから集めたものですか。

**答** 古民具は昭和53年頃で土器類は、昭和37年1月の越生五領遺跡です。

**問** 古民具の数と、集めた古民具や土器は、この先どうに保存しますか。

**答** 古民具の数は正確な数は把握していませんが、おそらく3千点位と思われ、民具や出土品は、当分の間このままです。

**問** この土器類の復元は、考えていますか。

**答** 復元作業は行っており縄文土器、土師器・須

恵器等を含め、やまぶき公民館の一角で展示しています。

**問** 学芸員は何名ですか。

**答** 学芸員有資格者を、平成14年より2名配置しています。

**問** この古民具や出土品の公開予定はありますか。

**答** 駅の道灌プラザのような既存スペースを利用して企画してまいります。

**問** 郷土資料室の古文書、記録簿等の文化遺産数、保存方法は。

**答** 資料の数は10万点以上で、乾燥し防虫剤を入れて保管しています。

券のそれぞれの利用者数と、他路線の利用はできますか。

**答** タクシーは505人、バスは209人です。町外の路線は乗れますが、町内のみの乗車です。

**問** ワンコイン(500円)サービス事業の導入は、可能ですか。

**答** シルバー会員の、請負体制や収益性などに課題があり、現状ではワンコイン制の導入は難しいと考えています。



積み重ねられた古民具等

## 点字ブロック補修、山間部の 火災対応、(株)加工研究所

岩田 眞一



**問** ①ビニール製、点字ブロックの場所が沢山はがれている。把握をしているか。②全体の長さは。③補修箇所の長さは。④経過年数は。⑤今後の補修の考えは。⑥予算措置は。⑦これまでに苦情は。

**答** 貯水槽の消火能力は。③消火に時間、より迅速な対応は。今回の反省点は。④家庭用消火器の購入に町の補助は。

**問** ①点字ブロックは障害者の命綱である。認識をしている。②5・3km。③約330m。④45年ほど。⑤最近、駅から越辺川を整備した。今年度は交差点を重点に補修を計画。⑥m当たり6万5千円。生活関連で支出。⑦障害者の苦情はない。

**答** ①検討したが要請はしていない。山間部の夜間は危険で要請はできない。延焼状況によっては考える。②容量は40t。③消火活動は翌朝の完全鎮火まで行った。④消火器の購入補助はしていない。

**問** ①4月中旬に麦原の山間部で火災が発生。埼玉県防災航空センター(防災ヘリ)に消火等を要請したか。今後照明等での活用は。②近くの

**答** ①梅の駅(休養村センター)は、(株)越生特産物加工研究所が指定管理を受けている。この制度は民間のノウハウを活用できる点で有効。2年間、町の管理費用が軽減等できたのか。②利用者がアンケートの内容は。③町は資本の46%を保有し、



点字ブロック 交差点、やまぎ公民館前

貸付金があつて、町民も関心が強いので、この会社の財務諸表を公表することは。①管理費は2年間共に、定額で350万円を払っている。②アンケートはしていないが、意見箱には「品揃え、野菜鮮度、店員の雰囲気、共に良い」、「トイレの水回り、汚れが目立つ」。③財務諸表の公表はしない。

## 「書かない窓口」の導入を 補助額見直しで受診者拡大を

宮崎さよ子



**問** デジタル化についての具体的な検討内容は。①町が発行する住民票や印鑑証明書などの証明書類を全国のコンビニで取得できるコンビニ交付システムの導入を、10月から供用開始できるように進めている。また、国が進める行政手続きのオンライン化に対応するため、子育て関係や介護関係などの27手続きを自宅のパソコンやスマートフォンからオンライン申請が行えるよう本年度中の実施に向けた準備を進めている。

**答** 「書かない窓口」について、導入する考えは。②町でも自治体DXの推進に向けた取り組みの中で検討を進める。先行導入している近隣自治体の運用状況を視察するなど判断して参りたい。

**問** 令和3年度の越生町と県内自治体の寄居町、上里町、ときがわ町、美里町の人間ドック等の受診者数と補助額は。

**答** 越生町は78名、20万5千円。寄居町は320名、1114万5820円。上里町は303名、822万9150円。ときがわ町は122名、312万円。美里町は108名、418万9660円です。

**問** 「書かない窓口」は申請書の作成時間が減り、住民の負担軽減や利便性の向上、更に行政の効率化に繋がると思う。デジタル技術を積極的に活用

**問** 令和4年度越生町国民健康保険特別会計予算

人間ドック等の受診者数と補助額

令和3年度3月31日現在

ドック	補助額 (単位:円)			合計 (単位:人・円)	
	人間ドック	脳ドック	併診ドック	受診者	補助額合計
越生町	25,000	25,000	30,000	78	2,025,000
寄居町	35,000	35,000		320	11,145,820
上里町	25,000	25,000	45,000	303	8,229,150
ときがわ町	25,000		30,000	122	3,120,000
美里町	35,000	35,000	60,000	108	4,189,660

は15億630万円。その内、人間ドック等の予算は305万円。人間ドックと脳ドックの補助を3万円、併診ドックの補助を4万5千円に増額しても国保財政に影響を与えるとは思えない。今が、補助額の見直しを、考える時ではないか。

**答** 国保財政の状況を踏まえ、補助額は今後も検討していく。

# 課題解決なるか 町のトイレ事情

島野美佳子



**問** 現在、町が管理する観光トイレの数、清掃のための費用は。

**答** 21か所。観光トイレの清掃費用は215万3665円の見込み。

**問** 清掃業務の委託先は。

**答** 越生町シルバー人材センターと民間清掃企業の2者。

**問** 観光トイレの管理の課題は。

**答** 費用とマンパワーが課題。今年度から高圧洗浄などによるトイレの床や壁などのクリーニンング作業を、毎年数か所ずつ計画的に行っていく。

**問** 整備中のパークゴルフ場にトイレを設置する予定は。

**答** 河川敷にあるため、常設のトイレを設置することは難しいと思われる。

協力委員さんの意見を聴きながら、設置や管理について検討していきたい。

**問** バイオトイレ導入の場合、価格、維持費は。

**答** バイオトイレは悪臭がなく水が不要で、電気と杉などのチップで処理するもの。ときがわ町や飯能市で既に設置している。設置には500〜1000万円以上、リースだと月5万円程度。保守点検費用で年間20万円。

**問** 男性用個室にもサニタリーボックスが必要だ。

**答** 前立腺がんや膀胱がんを患い、治療されている男性の方などは、尿漏れパッドは欠かせず、今後、高齢化に伴い必要が見込まれることから、早速、役場庁舎ほか、数か所の男性用個室にサニタリーボックスを設置した。

て、不便を感じずに来庁できる環境づくりに努めていきたい。



小倉城址のバイオトイレ（ときがわ町）

**問** 黒山三滝のトイレが長年の課題。新井町長も平成30年には、議員として改善を訴えていたが。

**答** ずっと気になっていたが、スペースの問題、暗くて湿気が多い環境、予算の面からも難しい。

# 森林環境譲与税活用は J-クレジットについて

金子 公司



**問** 森林保有者が森林環境譲与税を活用するために、どうすれば良いでしょうか。

**答** 森林環境譲与税は、町が行う森林整備に関する施策のほか、人材の育成や確保、森林の公益機能に関する普及啓発、木材の利用促進などに充てるため、自治体に交付されるもので、直接的に森林所有者が活用できるものではない。そのため森林所有者が間伐などの森林整備を行う場合には、越生町一般造林補助事業の活用を案内している。

**問** 民有林と隣接する町有林の整備活用することで、森林環境譲与税を使うことが出来ないでしょうか。

**答** 森林環境譲与税を町有林には活用することができ参考例として、森林啓発活動のためのフィールド造りや木材利用のために活用することと示されている。取り組む事業により森林環境譲与税が活用できるケースもあり、今後具体的事例をもとに、国、県と協議したいと考えている。

**問** J-クレジットについて、越生町での取り組みのお考えはありますか。

**答** J-クレジット制度は、カーボンニュートラルを実現するための1つの手法であり、クレジットを取得するために必要な森林面積が必要になる。昨年2月から進めている「ゼロカーボンシティ宣言」に向け、隣接

自治体との山並みによる連携を検討しており、そのような広域連携により進めることで、大きな可能性が見いだせるのではないかと期待している。



J-クレジット制度の概略



# 安心・安全な地域づくりのための対策を早急に

高橋 一正



**問** 国土交通省によると、全国の土地の約20%が所有者不明土地だと推計されると報告、越生町における所有者不明の土地を把握しているか。

**答** 課税できない土地が10件18筆、3856㎡、家は14棟ある。

**問** 空き家についてお尋ねする。特に問題を起こすのが、ドアや壁、窓の崩壊により動物が侵入することや、見知らぬ人の出入りや、ゴミが捨てられるなど、安心・安全な地域づくりのためにも対策が必要と思うが。

**答** 地域に影響を及ぼす可能性のある空き家は6件（うち所有者が町外は3件）、その6件について継続的に、調査、指導を行っている。

**問** さる3月議会において、太陽光発電に関する条例が成立した。今後の太陽光発電の設置はどのように進むと思うか。特にゼロカーボンシティー宣言との関係ではどうか。

**答** 太陽光発電はカーボンニュートラルを実現するために重要な資源であり、施策であると思う。条例の有効化の問題で、罰則規定が必要かと思うがどうか。また、不誠実な事業者に対する共通の認識を持つため、連絡会のような組織を作り、情報の共有を図れないか。

**答** 法律に従わない場合には、認定の取り消しを行うことができる旨の規定がある。連絡会については特段考えていない。

**問** 10年後、20年後に発



玄関ドアが破損している空き家

電施設を取り壊さず、そのまま放置されたとすれば、住民の安心・安全を脅かす問題になる。町の条例に積み立て規定を。

**答** この4月にスタートした制度により、発電事業者に対し、廃棄のための費用に関する外部積み立てが義務化された。町の条例に規定する必要はないと考える。

# 学校の在り方検討委員会を子どもの居場所作り梅サポ室

池田かつ子



**問** 町の人口減少に伴い、児童数も減少。梅小は、今後、複式学級の導入の可能性も出てくるかと思う。複式学級とは。

**答** 国基準では隣り合う2つ以上の学年で編成される学級のこと。

**問** 梅小の児童数の推移についての教育委員会の見解は。

**答** 国基準で見ると令和7年度より複式学級が現れる予想。学級数などの学校規模の急激な変化はないものと感じているので、令和7年度以降も当分は町独自の学級編成を考えている。

**問** 将来、各学年がひとケタになっていくと予想されるが、それは、学校だけの問題ではない。町づくりや町の財政面にも

影響することは必至である。総合的に見ていくため、時間をかけて取り組む必要がある。今から準備委員会を設置することについての考えは。

**答** 児童減少問題は、避けて通れない。児童の推移は定期的に学校運営協議会、教育委員会会議に示していく。そこから準備委員会が必要という声が上がってくれば提起していく。

**問** 梅サポ室ひまわりの活動内容は。

**答** 土・日・祝日及び春・夏・冬休みの長期休業期間の午後、ひまわりを開館して、子ども達の交流の場としている。

**問** コロナ禍で休止中、梅サポ室の活動の部屋を別の用途で使用していた



五大尊花木公園から越生小を望む

が、それについて事前に支援員らへ相談したか。

**答** 使用について伝えたと思うが丁寧な説明が不足していた。

**問** 子ども達の居場所の一つとして周知、参加しにくいようにするためにPRも兼ねて元気っ子通信を今までのように発行してはいいかがか。

**答** 再開に向け、活動内容が決まったら掲載するよう進めていきたい。

老後の楽しみは  
笑顔と希望を人々に届けること

本号の「顔」は、地域の高齢者の集いなどご存知の方も多いはず。ボランティアで落語の出前を行っている「工事屋現場」こと瀬上敏則さんに聞きました。

★子どもの支援も行う

★いつから落語を

50年前、高校からです。横浜市南区だったので、隣の金沢区の高校は桂歌丸さんの出身校。落語が大はやりの



敬老会に招かれて古典落語を熱演

時代でした。落研（落語研究会）の友人の落語を見て「自分もやりたい」と。でも剣道部に所属していたので落研には入部せず、円生や円楽をテープに吹き込み覚え、一人で教室などでやっていました。そのうちに、「瀬上という上手いやつがいるぞ」と落研でも話題になり、発表会にゲスト出演。その時、落研の先輩が「お前はやせつぼちで骨組みだけだから高座名は工事屋現場だ」と。それが現在の高座名の由来です。でも大学では落研を選ばず、また運動部に。それ以降、落語からずっと離れていました。

★どういって再び落語を

30年を経た平成11年、当時住んでいた日高市で落語の会を結成しようとの話が。私が落語好きなのを知っている妻が、ある日突然「おとうさん、申し込んでおいたから」と。



工事屋現場こと

瀬上 敏則さん

それは県の素人落語コンクール出場のメンバー集めでもあり、テープ審査で県全体で8人出場。2位となり県教育長賞を受賞しました。その時集まった仲間が日高寄席を毎年開催し、3年前まで20年続きました。越生町に越してからは、地域の集まりなどにも呼ばれるようになりました。

★子どもたちの教育支援も

埼玉県が推進する生活困窮家庭の子ども教育支援事業である「アスポート（明日＋サポート）」活動に週2回参加し、町内では「おごせ寺子屋の会」で主に数学を週1回教えています。高校教師の時代もずっとバレーボール部の顧問で、土日や長期休みも返上して部活動に打ち込んでいました。子ども達が自分たちの明日のために頑張る姿は素晴らしい、自分の励みにもなりますからね。

議会を傍聴  
しませんか

町議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれる「定例会」と、必要がある時に開かれる「臨時会」があります。どちらも一般公開され、傍聴することができます。

議会議員が、議会ですんなり活動をしているかを直接見たり、聞いたりすることができ、町の動きを知ることができ、議会の開催情報などはホームページに掲載しております。「越生町議会」で検索してください。

議会傍聴者数

本会議	傍聴人数
6月1日(水)	0
6月2日(木)	15
6月3日(金)	14
合計	29

※6月30日の臨時会は 0人。



編集後記

今年は健康福祉課、子育て支援課、会計課、合わせて3課が女性の課長となり、女性管理職比率がこれまでで最高となっています。

何年もの間、女性課長が1名にとどまってきたことからすると、今回の人事は革新的な動きといえるでしょう。男女差だけでなく、多様性が尊重される時代です。様々な経験、視点を持つ人材を適材適所で登用し、活かしていく町づくりを大いに歓迎します。町をよりよく変革しようとするムーブメントが起こりそうな予感のする6月議会となりました。

(池田かつ子 記)

委員長 関根 真一  
副委員長 木村 好美  
委員 水沢 努  
金子 公司  
池田かつ子  
高橋 一正  
島野美佳子  
長根 弘倫  
岩田 真一

アドバイザー

宮島サイ子

